



令和5年度
学校だより

Our Team 山川中

12月

7日 第29号

文責 松本和基

12月4日（月）21学級で人権学習の研究授業を行いました。2学期から部落史を初めとする同和問題学習に継続的に取り組み、今回は社会情勢や差別等により消えかけていた「三番叟まわし」という素晴らしい伝統文化を復活させた人たちの思いや生き方について学習しました。自分の考えを班で共有する中で生徒同士が「否定的な意見は言わんようにしよう」と確認するなど、お互いの意見を尊重する姿が印象的でした。



中内さんたちの誇りを持ってたくましく生きる姿に共感した生徒たちは、自分が正しいと思ったことを進んで行動しようと感じたようでした。授業後の研究会では先生方から、このような姿勢や考え方が差別解消につながるのだという意見が出されました。



12月5・7日 1年生のふるさと学習「地元の食材を知ろう！」に、和亭の阿部和剛さんとFC徳島の橋本真太郎さんが来てくださり「鮭の味噌煮」の調理実習を行いました。橋本さんは近い将来、出身地の沖永良部島に戻りキッチンカーで高校生に昼食を提供する仕事を立ち上げようと計画しているそうです。阿部さんとは「地元に貢献したい」という共通した思いで繋がったそうです。鮭の味噌煮もおいしかったようです。



ゆずの「ビューティフル」が流れだしそうな、整然とした美しい下駄箱をご覧ください。



生徒会の役員が、「こどもD0まんなか会議」や「市長と語る会」でふるさとの活性化について話し合いを行いました。4日の吉野川市議会で、谷田議員と塩田議員がそれに関連した一般質問をされましたので紹介します。

谷田氏 過疎地域に指定されている美郷、山川両地区の活性化にどのように取り組むか。
香西卓生産業経済部長 両地区に数多くある豊富な資源を活用した効果的な取り組みを継続するのが重要。美郷地区を中心に観光振興を図ってきたが、山川地区も加えて包括的な過疎地域の振興を進める。
塩田氏 「こどもまんなか社会」の実現に向け、子どもの意見をどう反映していくのか。
中山泰治健康福祉部長 夏休みに作文形式でもらった332件と、10月に開催した「こどもD0（ど）まんなか会議」で出された意見がある。どれも貴重なもので、市職員で共有して施策の検討を進めたい。